

第2学年 社会科学習指導案（歴史的分野）

時間・場所 3校時 2年2組教室

学 級 2年2組31名(男子16名,女子16名)

指 導 者 佐々木 美香

1 単元名 国を揺るがす綿とアヘン（第5章 近代の幕開け 第1節 近代世界の確立とアジア）

2 単元について

(1)生徒観

歴史的事象に興味・関心を持っている生徒が多く、発言も積極的に行っている。グループ活動にも概ね意欲的に取り組んでいる。しかし、発言する人に偏りが見られたり、グループ活動の際に人任せにしたりする人がいる。

(2)教材観

本章では、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。

(3)指導観

イギリスが清をどのように侵略していったのか、清はどのように対応したのかということ、それぞれの国の立場で考察させたい。

3 単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出など、近代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追求して、国際協調の大切さを考えさせる。	欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現させる。	欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。	欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させ、またその知識を身に付けさせる。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出など、近代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追求して、国際協調の大切さを考えようとしている。	欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解し、その知識を身に付けている。

5 学習計画（全9時間）

王は君臨すれども統治せず	・・・1時間	内と外の危機	・・・1時間
代表なくして課税なし	・・・1時間	たった四はいで夜も眠れず	・・・1時間
「世界の工場」の光とかげ	・・・1時間	新たな政権をめざして	・・・1時間
強大な国家を目ざして	・・・1時間	御政事売り切れ申し候	・・・1時間
国をゆるがす綿とアヘン	・・・1時間（本時）		

6 本時の指導

(1)ねらい

欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出した背景について考えさせる。（思考・判断・表現）

(2)本時の展開

	学習活動	学習内容	指導のための工夫・評価
導入	1 資料の読み取り	香港の国旗の提示 イギリスの植民地であったこと、かつてイギリスと清が戦争をしたことをつか	アヘン戦争の絵の提示
	2 課題の設定	イギリスはなぜ清と戦争を始めたのだろうか。	
展開	3 課題解決のための見通し	アヘンを吸う人々の絵の提示	○グループ学習 イギリスと清の貿易関係の図の提示 ○グループ学習 三角貿易の図の提示 アヘン戦争の絵の再提示
	4 課題解決のための活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18世紀中ごろのイギリスと清の貿易について双方の立場になって考える ・ 19世紀前半の三角貿易について既習事項をもとに、イギリス・清・インドの立場になって考える ・ 清国内の様子 清政府の対応 ・ アヘン戦争 産業革命との関連 ・ 南京条約 イギリスと清の力関係の明確化 アジア進出の拡大と植民地化 	
まとめ	5 まとめ		キーワードの確認
	清がアヘンの取り締まりを始めたので、イギリスは思うような貿易ができなかったから。（イギリスは清と戦争を始めた。）		
	6 次時に向けて	19世紀中ごろのアジアの地図の提示 ・ 日本は列強の動きを見てどのように思ったのだろうか。	アヘン 貿易 取り締まり
	7 振り返り		